

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアルVer1.0 ■使用評価ソフト：CASBEE北九州_2010(v1.0)

1 建物概要				
建物名称	北九州市立大学北方キャンパス	BEE	1.8	BEEランク A ★★★★★

2 重点項目への取組み度					
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価		
1 循環型社会への貢献	3.5 /5		ふつう		
2 地球温暖化対策の推進	3.9 /5		ふつう		
3 豊かな自然環境の確保	2.6 /5		がんばろう		
4 高齢社会への対応	4.0 /5		よい		
* 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
使用CASBEE評価マニュアル:	CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補	使用CASBEE評価ソフト:	CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)	

1 循環型社会への貢献 スコア平均 3.5				
リサイクルに関する配慮	長寿命化に関する配慮			
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3.4	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア 3.4	
		Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.7	
リサイクル建材や解体時の分別が行いやすい工法を採用し、資源の有効活用に配慮した。	外壁に光触媒塗料などを採用し、建物のメンテナンス性に配慮した。各階にDS、PS、EPSを確保することで、構造部材や仕上げ材を傷めることなく、電気配線や配管の更新・修繕ができるように配慮した。			
2 地球温暖化対策の推進 スコア平均 3.9				
省エネ・省資源に関する配慮	節水に関する配慮			
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3.8	LR2/ 1.1 節水	スコア 4	
路盤材への再生骨材の活用やリサイクル建材や解体時の分別が行いやすい工法の採用などにより、建設や解体に伴うCO2排出量の削減に努めた。また、自然エネルギーの活用と、高効率機器の採用によって、運用時のCO2排出量削減にも配慮した。	屋上緑化の散水への雨水の利用や大便器、小便器とも節水型機器を採用すると共に、擬音装置を設置することで節水を図った。			
3 豊かな自然環境の確保 スコア平均 2.7				
生態系保全に関する配慮	緑化に関する配慮			
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 2	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 3	
		LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3	
外構計画においては、日照条件などに配慮しながら樹木を選定し、豊かで良好な緑地環境を形成した。また、屋上緑化を積極的に行うことで建物の緑化指数を高めた。さらに、自動灌水設備の完備などにより、メンテナンス性にも配慮した。	敷地内空地は芝生や低木によって緑被率を確保した。また、機器排熱に配慮し、排熱を供する室外機等は屋上にまとめて設置した。			
4 高齢社会への対応 スコア平均 4.0				
バリアフリーに関する配慮	主な指標			
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 4	PAL値/省エネ対策等級	レベル3.7	
廊下や階段などの床材や色、形状に配慮したり、手摺や点状ブロックの設置等によって、バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たした。		ERR	37 %	
		外構緑化指数	7.4 %	
		建物緑化指数	25.7 %	

: 入力欄

: CASBEE-新築(簡易版)の採点結果から転記してください。